



親愛なる日本のファンの皆様、こんにちは。

今回のコンサートに期待をよせていただき心から感謝いたします。

今回はヨーロッパ20都市余りで演奏した

シューマンの幻想曲やベートーヴェンのソナタを主に披露いたします。

皆様とお会いできることを心から祈っています。

ユンディ・リ

2014.6.9.北京

「ユンディのベートーヴェン」を聴く喜び

音楽評論家 萩谷由喜子

ユンディ・リの初来日は2001年だった。その前年2000年の秋、過去2回続けて第1位空席だったショパン・コンクールに15年ぶりの優勝を飾り、入賞者記念ツアーの主演として日本の土を踏んだのだ。筆者はコンクールの第2次予選で初めて彼を聴き、しなやかな身体性から生まれる剛柔自在の多彩なタッチと輝きのある美音の虜となり、第3次予選、本選と固唾を飲んで若武者の快進撃を見守った。それはつい昨日のことのようだが、早くも14年の歳月が流れ、今や彼も31歳の四川音楽院教授となった。

その彼が、今秋久々の日本全国ツアーを展開する。核となるプログラムは、幕開けがショパンのノクターン第1番と第2番、メインがベートーヴェンの『悲愴』『月光』『熱情』の3大ソナタという豪華なものだ。実は、昨年暮れに東京で2公演だけ実現した来日リサイタルもこのプログラムだった。今回再びこのプログラムを採りあげるのは、昨年聴き逃したファンへの贈り物の意もあろうが、より高い完成度を目指す彼のプロ根性の反映でもあろう。昨年、東京芸術劇場でこのプログラムを聴いたが、ノクターンにはコンクール優勝時の瑞々しさが健在で、ベートーヴェンは往年の大家の演奏とは一線を画するロマンティックな感性に溢れていた。

左手の和声伴奏にのせて右手が流麗甘美な旋律を歌うノクターンは、みずから奏する旋律の美しさに奏者が自己陶醉してしまうと甘口音楽に陥りかねないが、彼は曲に溺れることなく、崩さぬテンポのうちに品のよいリリズムを醸していた。ベートーヴェンの3大ソナタはドイツのハノーファー音楽院に学んだ彼にとって生涯目標でもあるのだろう。ほどよく抑制の利いた『悲愴』、3つの楽章のテンポ設計とペダリングに周到な気配りのみられた『月光』、スポーティーなまでの快心のタッチで鮮やかな運動性をもって奏された『熱情』。3曲3様の表情が印象的だった。

1年の熟成期間を経て、さらに解釈の深まったに違いないこれら傑作群を再び聴ける期待に、今、筆者の胸は高鳴っている。

ユンディ・リ YUNDI (李雲迪)

18歳の時に、ワルシャワで開催されたショパン国際コンクールで、コンクール史上初の中国人並びに最年少の優勝者となり、瞬く間に世界の舞台に踊り出た。以来彼はショパン音楽の代表的な演奏者とみなされている。ポーランド文化に対する貢献を認められ、2010年ポーランド政府より文化功労ゴールドメダル「グロリア・アルティス」を授与された。

ユンディは定期的によりサイタル・ツアーを行っており、カーネギー・ホール（ニューヨーク）、ロイヤル・フェスティバル・ホール（ロンドン）、フィルハーモニー・ベルリン、フランクフルトのアルテ・オペラ、ヘラクレスザール（ミュンヘン）、ライブツィヒのゲヴァントハウス、サルブレイエール（パリ）、モスクワ・インターナショナル・ハウス・オブ・ミュージック、マリインスキー・コンサートホール（サンクトペテルブルク）、国立舞台芸術センター（北京）、ソウル・アーツ・センター、サントリー・ホール（東京）、等の著名なホールで演奏している。これまでの共演したオーケストラと指揮者には、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団と小澤征爾、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団とリッカルド・シャイー、マラー室内管弦楽団とダニエル・ハーディング、ロッテルダム・フィルハーモニーとヤニック・ネゼ＝セガン、フィルハーモニア管弦楽団とアンドリュー・デイヴィス、マリインスキー管弦楽団とワレリー・ゲルギエフ、イスラエル・フィルハーモニーとグスタボ・ドゥダメル等が含まれる。また、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ナショナル交響楽団（ワシントン）、フィラデルフィア管弦楽団、トロント交響楽団、NHK交響楽団とも共演している。

生まれ故郷の中国ではユンディの名は広く知られており、膨大な数の信奉者がある。2013-2014シーズンの初めには、国内の35都市を巡るツアーを行い、地方の都市のみならず、さらに小さな町にもクラシック音楽を届けた。コンサート活動に加え、ユンディは人道活動にも情熱を注いでいる。教育の場でのクラシック音楽の普及に同等に打ち込むユンディは、中国における音楽教育のパイオニアのひとりであり、彼の成功物語はピアノを習う数百万人の子供達を触発している。また、王立音楽大学、ケンブリッジ大学、北京の精華大学でマスタークラスを行っている。2012年、四川音楽院の教授陣最年少メンバーとしてピアノ学部の副学部長並びに教授に就任した。

ユンディの多数にのぼるディスクは、ドイツ・グラモフォンとEMIクラシックから出ている。2007年、中国人ピアニストとして初めて小澤征爾指揮ベルリン・フィルとライブ収録を行った。ドイツ・グラモフォンのこのディスクは絶賛され、グラモフォン誌の「エディターズ・チョイス」に選ばれた。EMIクラシックではショパンのノクターン全集、「北京ライブ」、中国人作曲家が書いたピアノ曲を収録した「レッド・ピアノ」を収録している。最新のCDは、2014年の春にリリースされるベートーヴェンの協奏曲5番とシューマンの幻想曲である。

重慶生まれのユンディは、7歳でピアノを習い始めた。後に深圳芸術学校、ハノーファー音楽芸術大学で学んだ。



ユンディ・リ Yundi

ユンディ×ベルリン・フィル/ハーディング=最強の《皇帝》ここに誕生!

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番《皇帝》

シューマン:幻想曲

日本盤のみのボーナス・トラック

R=コルサコフ:熊蜂の飛行

ユンディ・リ (ピアノ)
ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
指揮:ダニエル・ハーディング
録音:2014年1月、2月ベルリン

4/23
発売

【通常盤】 UCCG-1650 定価 ¥ 3,024 (税込)
【DVD付限定盤】 UCCG-9996 税込 ¥ 3,780

★限定盤のみ最新写真満載ブックレット仕様
★限定盤のみ高音質SHM-CD仕様

◀DVD付限定盤



▲通常盤

発売・販売元:
ユニバーサル ミュージック

ロマンティックかつ情熱的に奏でる、ユンディの新境地!

ベートーヴェン:
ピアノ・ソナタ第8番《悲愴》・
第14番《月光》・第23番《熱情》

発売中!

ユンディ・リ (ピアノ)
録音:2012年6月 ベルリン
【通常盤】
UCCG-1582 定価 ¥ 2,880
【DVD付限定盤】
UCCG-9991 税込 ¥ 3,600



ユニバーサル ミュージックのホームページで商品が購入できるようになりました! (一斉販売)
<http://www.universal-music.co.jp/classics/>